

開園一〇〇周年記念企画展

会 所

かいしょ

— 三溪園の建物と花 —

エバレット・ブラウン湿板光画展



KAISHO — A Collaboration of Flower, Art and Architecture in Sankeien Garden and Estate —
Wet Plate Collodion Works by Everett Kennedy Brown

2016年 12/20 (火) ~ 2017年 3/12 (日) ※12/29・30・31は休園日となります

会 場：三溪記念館 第3展示室 at The Sankei Memorial

※三溪園の入園料で鑑賞できます

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN
GARDEN

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1

TEL 045-621-0634・5

58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。

<http://www.sankeien.or.jp>

三溪園で過ごすお正月

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開

Japanese Traditional Events in Kakushokaku at New Year

2017年 1/1(日) ~ 1/3(火)

1/1(日) 箏曲演奏(アトリエ箏こたま)

1/2(月) 庖丁式(横浜萬屋心友会・興禅寺雅楽会)

1/3(火) 和妻(北見翼)



盆栽展

Bonsai Exhibition

2017年 1/8(日) ~ 1/22(日)

共催：横浜三溪園卓月会

参拝者には、
合格祈願鉛筆を
進呈します。
【先着200名様】



初天神

Hatsutenjin (Sankeien Tenmangu Shrine Ceremony)

2017年 1/25(水)

PHOTO
YOKOHAMA

会所 かいしょ — 三溪園の建物と花 —

KAISHO

— A Collaboration of Flower, Art and Architecture in Sankeien Garden and Estate —
Wet Plate Collodion Works by Everett Kennedy Brown

エバレット・ブラウン湿板光画展

2016年 12/20(火) ▶ 2017年 3/12(日)

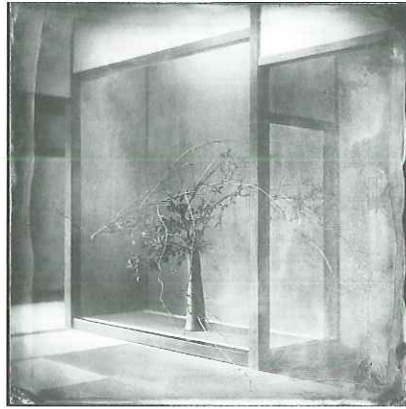
※休園日：12/29・30・31

写真家エバレット・ブラウンは、日本の風景や伝統の文化・技術をテーマに、湿板という古くからの撮影技法をもって制作活動を行っています。

三溪園での展覧会は、園の創設者・原三溪が追求した美の世界に着目した2015年に続き2度目の開催となります。今回のテーマは「会所」。会所とは中世のころ身分の違いを問わず歌会など風流・風雅を尽くした催しが行われた文化サロンです。また、三溪園も、創設時から美しい風景は誰もが楽しむべきものとして一般に開放され、三溪の支援のもとに芸術家が集い新たな文化を育んだ場所です。ここもまさに「会所」と位置付けることができます。

本展では、梶井宮御流家元・藤原素朝氏のいけばなを設えた建物内部や庭園をとらえた作品、約15点を紹介します。

氏の視点をとおして、新旧の価値・文化を幅広く受容し続けてきた三溪園の魅力をご覧ください。



エバレット・ブラウン Everett Kennedy Brown

1959年、アメリカのワシントン D.C. 生まれ。88年から日本に定住。epa 通信社日本支局長を経て、現在は湿板光画家、ブラウンスフィールド代表として活動。国内の媒体を始め、「ナショナル・ジオグラフィック」、「GEO」、「家庭画報INTERNATIONAL」、「ル・モンド」などに広く作品を寄せる。著書に「俺たちのニッポン」(小学館)、「日本力」(松岡正剛氏との共著・パルコ出版)他多数。日本文化デザインフォーラム会員、文化庁主催「文化芸術立国の実現のための懇話会」会員、経済産業省クール・ジャパン官民有識者会議委員など。テレビ出演に、「奥の細道」(SkyPerfect)、「写真家たちの日本紀行」(BSジャパン)、「エコの作法」(BS朝日)、「エルムンド」(NHK BS1)など。文化庁長官表彰被表彰者。2017年1月に、三溪園で撮影した写真を紹介する作品集を刊行予定。
www.everettkenedybrown.com



特別講演会

「会所」といけばな デモンストレーション

日時：2/12(日) 14:00-15:30 (開場 13:30)

会場：三溪園内 鶴翔閣

参加：無料 (三溪園入園料は必要です)

定員：80名

講演：エバレット・ブラウン氏

藤原素朝氏 (梶井宮御流家元)

近衛忠大氏 (クリエイティブディレクター)

協力：会所プロジェクト

申込み：はがきに「郵便番号・住所・氏名・電話番号・FAXまたはE-mailアドレス」をご記入のうえ、次のあて先までお申込みください。定員になり次第締め切ります。

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1
三溪園 特別講演会係

展示 梶井宮御流のいけばな

2/12(日)～2/26(日)

会場：三溪園内苑 臨春閣・第三屋

※建物の外から鑑賞していただけます。

藤原素朝 ふじわら そちよう

1971年、梶井宮御流第二十世家元一松斎藤原素朝の長女として生まれる。1998年の副家元就任を経て、2004年、梶井宮御流第二十一世家元を継承。2005年、三溪園鶴翔閣に於いて家元継承儀名記念展を開催する。この年より流派発祥の地である三千院門跡の大法要の献花を、2011年より毎年11月に三千院門跡に於いて秋季華道展を開催。その他、個展開催、異業種とのコラボレーション等精力的に活動。
www.kjg.jp



三溪園で過ごすお正月

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開

Japanese Traditional Events in Kakushokaku at New Year

2017年 1/1(日)～1/3(火)

三溪園の創設者・原三溪の旧宅である鶴翔閣は明治35年に建てられた延床面積950㎡を誇る壮大な木造建築で、かつて横山大観や和辻哲郎など多くの文化人が出入りしたことでも知られています。期間中は、日替わりの催しも楽しめます。
公開時間：9:00～16:00



盆栽展 Bonsai Exhibition

2017年 1/8(日)～1/22(日)

9:00～16:00 (最終日は15:30まで)

松柏類、花梨、椿、雑木を中心とした盆栽約50鉢を展示。鉢の上の小さな自然が楽しめます。期間中は盆栽の手入れに関する相談も随時受け付けます。

共催：横浜三溪園卓月会

初天神

Hatsutenjin
(Sankeien Tenmangu Shrine Ceremony)

2017年 1/25(水)

祭祀 11:00～ / 一般参拝 11:20頃～

三溪園天満宮は、三溪園にほど近い間門の旧家・高梨家が江戸時代に同地の丘の中腹に祀った間門天神がその前身です。参拝者には、合格祈願鉛筆を進呈します。[先着200名様]



国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN

<http://www.sankeien.or.jp>

TEL 045-621-0634・5

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1 58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

- 休園日：12/29～31
- 開園時間：9:00～17:00 (入園は16:30まで)
- 入園料：一般 ¥500 (¥400)
子ども(小学生) ¥200 (¥100)
※()内の料金は、20名以上の団体料金

- 交通：JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分 / 横浜駅東口からバスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分 / 桜木町駅からバスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分 / みなとみらい線元町・中華街駅4番出口バス停「山下町(タワー入口)」からバスで15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
※ぶらり三溪園バスで、「三溪園」下車、バス停は三溪園駐車場内・正門近くです

三溪園の目の前へ! 便利な新しいバスルート

ぶらり三溪園BUS

土・日・祝日限定で、横浜駅方面から三溪園(駐車場内)まで運行。



2016年
10/1(土)
よりスタート

年末年始の運行等、詳しくは横浜市交通局へお問い合わせください。

※他の三溪園方面のバスルートとはこととなります。